

保護者様

令和3年12月17日
京都市立洛央小学校
校長 竹村 知子

令和3年度学校評価（前半）を振り返って

学校評価にご協力ありがとうございました。

令和3年度学校評価（前半）の集計結果をお知らせします。先日は保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）のアンケート（インターネットを利用した回答形式）にご協力いただき、ありがとうございました。

洛央小学校では、「学びの広がり、深まりとつながりのある学校～他者と協働し、学び合う子の育成～」を教育目標とし、教育活動を進めています。今年度は、子どもたちの実態より、いくつかの項目を昨年度の内容から変更させていただきました。新型コロナウイルス感染症対策をしながらの教育活動は今後も続きますが、今回の集計結果を真摯に受け止め、後半以降の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えております。

①友達や先生の話を聞くことができていると思われますか。（保護者）

友達や先生の話を聞くことができていますか。（児童）

友達や先生の話を聞くことができるよう支援・指導していますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	42%	49%	7%	2%
児童（高学年）	49%	45%	5%	1%
児童（低学年）	54%	38%	7%	1%
教職員	52%	48%	0%	0%

「相手の話を聞く」ことについて、9割以上の回答者が、「そう思う」「大体そう思う」と答えていました。「聞くこと」を大切できているというよい結果に、非常にうれしく思います。

洛央小学校では、様々な教科等の学習において、「お互いの考え方や気持ちを伝え合う活動」に重点を置いております。コロナ禍において、身体的な距離を配慮しながらコミュニケーションを取らなければならない状況の中では、これまで以上に「相手の思いをしっかりと聞き、理解を深めようとする意識」が大切になります。

児童が多様な人々とコミュニケーションを取り、互いの考え方や思いを聞くことで、より視野を広げたり、学びを深めたりしていく様子が取り組んでいきたいです。

②自分の考え方や思いを話すことができていると思われますか。（保護者）

自分の考え方や思いを話すことができていますか。（児童）

自分の考え方や思いを話すことができるよう支援・指導していますか。（教職員）

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	22%	56%	19%	3%
児童（高学年）	36%	43%	17%	4%
児童（低学年）	43%	36%	17%	4%
教職員	33%	63%	4%	0%

「自分の考え方や思いを話すことができる」については、80%程度の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。一方、児童や保護者の回答の約20%が「あまりそう思わない」「そう思わない」となっていました。

①の項目と比較すると、子どもたちにとって「相手の話を聞く」ことよりも「自分の考えや思いを話すこと」に対して苦手意識や不安感等を抱いているのかもしれません。「話すこと」は、日常生活において考え方や思いを直接相手に伝えることができる方法です。自分自身の考え方や思いを伝えるためのコミュニケーションには「話す」という方法以外にも様々ありますが、思いや考えをよりよく伝えるために、「話すこと」を大切にする支援や指導をこれからも続けていきたいと思います。

③学習や活動にねばり強く取り組むことができていると思われますか。(保護者)

学習や活動にねばり強く取り組むことができていますか。(児童)

学習や活動にねばり強く取り組むことができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	25%	57%	16%	2%
児童（高学年）	37%	48%	12%	3%
児童（低学年）	57%	33%	8%	2%
教職員	37%	63%	0%	0%

児童の成長にとって必要な時には、我慢してやり抜くことができるよう支援したり指導したりしていきたいと思います。学年が上がるにつれて、学習内容の難易度も上がり、取組も質の高いものを求められるようになります。挑戦したり乗り越えたりした時に共に喜べるような関わりをしていきたいです。苦手なことに根気強く取り組んでいる姿勢に対して、ほめる言葉をかけていただければうれしいです。

④友達や周りにいる人たちと協力することができていると思われますか。(保護者)

友達や周りにいる人たちと協力することができていますか。(児童)

友達や周りにいる人たちと協力できるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	39%	55%	5%	1%
児童（高学年）	59%	37%	2%	2%
児童（低学年）	61%	28%	8%	3%
教職員	27%	54%	19%	0%

「友達と力を合わせること」については、ほぼ9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答結果でした。昨年度も同様の結果で、継続していることを非常にうれしく思います。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童も低学年で10%ほどいました。

今年度前半も、コロナウイルス感染拡大防止のため、小グループでの話し合い活動や課題グループでの活動、給食や掃除などの当番活動、たてわりグループや係の活動、委員会やクラブ活動など、力を合わせる場面に制限がかかることが非常に多くありました。そうした機会や場面が少なかったこともあり教職員は協力できる支援・指導がなかなかできないと感じていました。感染対策が必要な時に、密を避けながらも友達と協力する機会をどうすれば確保できるのか、今後も検討していきたいと思います。

⑤進んで運動をしていると思われますか。(保護者)

進んで運動をしていますか。(児童)

進んで運動ができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	34%	34%	26%	6%
児童（高学年）	54%	21%	6%	19%
児童（低学年）	64%	23%	8%	5%
教職員	27%	54%	19%	0%

「進んで運動している」については、低学年児童以外は2割から3割ほどの回答者が「あまりそう思わない」「そう思わない」としていました。「進んで運動していない」という要因は様々だと思います。運動が苦手である、運動する必然性がない、運動する場所がない、感染拡大防止のため制限された等、多くの要因や背景が考えられます。運動することは、児童の心身の発達や健康の維持のために、とても大切です。休み時間や体育の学習はもちろん、運動できる環境や機会を整えることを今後も大切にしていきたいです。また、児童が意識するためにも、運動の大切さを学ぶ時間も大切にしたいと思います。ご家庭でのお声かけもどうぞよろしくお願ひします。

⑥好き嫌いせずバランスよく食べていると思われますか。(保護者)

好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(児童)

好き嫌いせずバランスよく食べるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	33%	42%	19%	6%
児童（高学年）	46%	34%	14%	6%
児童（低学年）	50%	34%	11%	5%
教職員	50%	42%	8%	0%

「好き嫌いせずバランスよく食べること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者が約25%，高学年児童が約20%，低学年児童が約16%でした。昨年度調査に比べると、「そう思わない」割合がやや減っており、好き嫌いせず食べようとしている姿が増えてきています。

食事は心と体を育みます。学校給食では栄養のバランスを考慮して献立を作成しています。今後も学校と家庭とが連携してよりよい食事ができるよう支援指導していきたいと思います。

⑦毎日必ず朝ごはんを用意していますか。(保護者)

毎日必ず朝ごはんを食べていますか。(児童)

毎日必ず朝ごはんを食べるよう支援・指導などできましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	87%	10%	2%	1%
児童（高学年）	82%	11%	3%	4%
児童（低学年）	89%	7%	3%	1%
教職員	39%	46%	15%	0%

「毎朝朝ごはんを食べる」ことについては、教職員以外は、9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。

学校では長期休業明けの1週間は生活点検をしています。その際に「朝ごはんを食べている」という項目を設けています。こうした機会に教職員も朝食の大切さを伝えていくことができるようにしていきたいと思います。また、給食時や食の指導の際にも朝食と関連付けて話題にしたいと思います。

今回の結果のように、児童がきちんと朝食を食べているという習慣を今後も続けていけるよう、教職員も意識するとともに、保護者の皆様のご協力をいただきますようよろしくお願ひいたします。

⑧安全に気を付けて生活することができていると思われますか。(保護者)

安全に気を付けて生活することができていますか。(児童)

安全に気を付けて生活することができるよう支援・指導していますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	48%	48%	3%	1%
児童（高学年）	60%	34%	5%	1%
児童（低学年）	69%	25%	4%	2%
教職員	50%	50%	0%	0%

「安全に気を付けて生活すること」については、9割以上が「そう思う」「大体そう思う」という回答でした。日常生活の中で、「安全に気を付ける」という場面は数多くあります。実験で器具の正しく扱ったり手順をしっかりと確認したりすること、調理実習で火傷に注意すること、運動中に周りの様子を確認すること、廊下を走らずに歩くことなど学校の場面でも様々な場面で安全に気を付けて生活をしています。

その中でも、交通安全については十分な注意を払ってほしいと思います。事故が起きてしまつてからでは取り返しがつきません。ついつい歩道を走つてしまつたり、歩道から外れてしまつたりしている児童の姿を見かけることもあります。安全に対する高い意識を実際の行動に表すことができるよう、来年度も指導を続けていきたいと思います。また、警察や子ども見守りたい、PTAなどの皆様とも協力する取組も同様に進めていければと考えています。

⑨自分のきめた目標にむけてがんばることができていると思われますか。(保護者)

自分のきめた目標にむけてがんばることができましたか。(児童)

自分のきめた目標にむけてがんばができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	26%	57%	15%	2%
児童（高学年）	40%	45%	10%	5%
児童（低学年）	55%	36%	7%	2%
教職員	48%	48%	4%	0%

「目標をもって学習したり生活したりすること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者で約30%，高学年児童が約25%，低学年児童で約20%でした。昨年度に比べて「そう思う」という割合が少しですが増えています。

昨年度から京都市では「生き方探求パスポート」の運用を開始しました。子どもたちが「なりたい自分」に向かって、自分のことをじっくりと見つめていくことを大切にすることがねらいです。自分の良さや得意なこと、がんばったことを自覚し、自分の成長を見つめることで将来の目標にも意識を向ける機会になればと思います。

授業では、どんなことを学習するのかを明確にして進めています。今後も学習や取組において、どんなことを目指すのか、どのような力を付けていきたいのかを児童に示しながら、活動をしていきたいと思います。ご家庭でも学習や生活の中での目標についてお話しやすく機会をもっていただければありがたいです。

⑩自分から進んでいさつをすることができていると思われますか。(保護者)

自分から進んでいさつをすることができていますか。(児童)

自分から進んでいさつをすることができるよう支援・指導できましたか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	27%	49%	20%	4%
児童（高学年）	50%	36%	9%	5%
児童（低学年）	62%	28%	8%	2%
教職員	54%	46%	0%	0%

「すすんでいさつ運動すること」については、「そう思う」と回答した割合が立場によって様々でした。低学年児童は、非常に高く60%以上が「そう思う」という回答でした。教職員、高学年児童では約50%でした。保護者の方は27%とやや低調でした。

あいさつは、人との関係を円滑にしたり信頼関係を築いたりする上で大切なコミュニケーションのひとつです。毎朝の玄関で交わされる「おはよう」「おはようございます」の声はとてもすがすがしく感じるとともに、安心感を与えてくれます。「こんにちは」「さようなら」また「ありがとう」など、何気なくしているあいさつの意味を感じ、気持ちのよいあいさつができるよう今後も児童に支援・指導を続けていきたいと思います。